

# 分光式卓上型残留農薬測定装置

青山学院大学 理工学部 准教授 淵 真悟、豊橋技術科学大学 工学研究科 教授 岩佐精二、助教 加藤 亮  
科学技術交流財団 研究員 上村彦樹  
三井金属計測機工株式会社 天野啓二

▶〈関連ページ〉7ページ

**狙い** 収穫作業後に納屋などに静置しての使用を想定している。微量の試料を用いて、特別な技術などを必要とせず誰でも迅速に、収穫した農作物について全数検査を実施できる装置を目指している。

**用途** 農作物に残留する農薬の分析は極めて重要であるが、現状の公定法では抜き取りかつ破碎検査が主流で、全ての農作物を測定することはできない。そこで、光を使用することで非破壊かつ高速な、全数検査可能な農薬測定方法として本装置を開発している。本機はデータの解析に必要なPC、光源駆動用のパソコンをすべて内蔵し、測定結果は即座に解析され、含有濃度をパネル上に表示する。

## 特長

- サブppmレベルの農薬を約2分で測定可能。
- タッチパネルを装備した簡単操作。

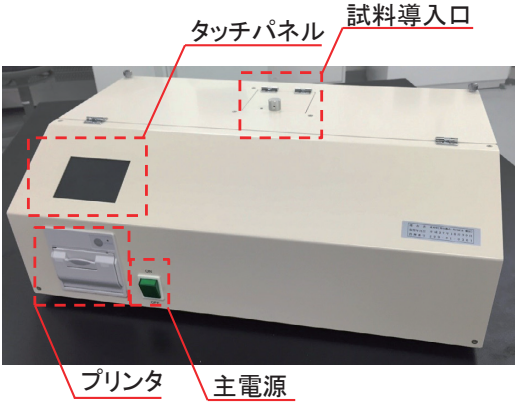
## 仕様

機能／残留農薬濃度測定(サブppmレベルの農薬:約2分)

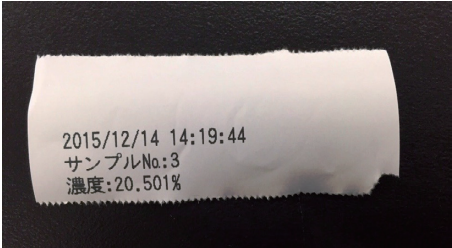
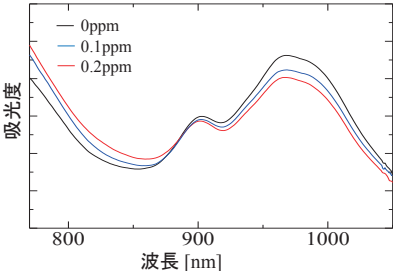
外 寸／W:500×H:170×D:300mm

重 量／約10kg

その他／タッチパネル操作。測定結果を紙でプリントアウト。



- ・測定結果をプリントアウトし、紙での保存が可能
- ・解析用PC、光源用電源などをすべてを一体化



測定結果を紙面でのプリントアウトが可能。

■お問い合わせ／三井金属計測機工株式会社 技術統括部 取締役 兼 技術統括部 部長 天野啓二  
e-mail : k\_amano@mkk.mitsui-kinzoku.co.jp 電話番号 : 0568-74-7670 FAX : 0568-76-7830  
■特許の有無 : 無